

目次

第1章 総 説

1.1 概 説.....	1
1.2 設計者として大成するための指針.....	2

第2章 規 格, 仕 様 書

2.1 規 格.....	6
2.1.1 規格の目的.....	6
2.1.2 設計と規格.....	6
2.1.3 規格の種類.....	7
2.2 仕 様 書	12

第3章 電 気 材 料

3.1 概 説	13
3.2 導電材料	13
3.2.1 概 要	13
3.2.2 導電材料の電気的特性	14
3.2.3 銅 線	15
3.3 磁性材料	15
3.3.1 概 要	15
3.3.2 電磁鋼帶	16
3.4 絶縁材料	18
3.4.1 概 要	18
3.4.2 絶縁材料の特性	19

3. 4. 3 温度上昇と機器の寿命	20
--------------------------	----

6. 2. 3 特別の保護方式：防爆形	46
---------------------------	----

第4章 温 度 上 昇

4. 1 概 説	23
4. 2 熱の発散	23
4. 2. 1 放 射	23
4. 2. 2 対 流	25
4. 2. 3 伝 導	26
4. 2. 4 热回路網	28
4. 3 温度上昇	29
4. 3. 1 一定の連続負荷の場合	29
4. 3. 2 負荷が変化する場合	31
4. 3. 3 反復負荷の場合	31
4. 3. 4 温度上昇の計算法	32

第5章 冷 却 方 式

5. 1 概 説	35
5. 2 冷却方式による分類	35
5. 3 変圧器の冷却方式	39
5. 4 許容温度上昇	41
5. 4. 1 回転機の許容温度上昇限度	41
5. 4. 2 変圧器の許容温度上昇限度	43

第6章 保 護 方 式

6. 1 概 説	44
6. 2 保護方式による分類	44
6. 2. 1 第1数字記号：人体の接触または接近、および 固体異物の侵入に関する保護方式	44
6. 2. 2 第2数字記号：水の浸入に関する保護方式	45

第7章 誘 導 起 電 力

7. 1 概 説	48
7. 2 変圧器起電力	49
7. 3 速度起電力	49
7. 4 発電機の交流起電力	51
7. 4. 1 分布係数	52
7. 4. 2 短節係数	54
7. 4. 3 卷線係数	55
7. 5 三相巻線の起電力	56
7. 6 直流電機子巻線の起電力	57

第8章 卷 線

8. 1 回転機の巻線	58
8. 1. 1 電機子巻線の概要	59
8. 1. 2 直流機の電機子巻線法	60
8. 1. 3 交流機の電機子巻線法	61
8. 1. 4 誘導機の二次巻線	62
8. 1. 5 界磁巻線	63
8. 2 変圧器の巻線	63
8. 2. 1 巷線の配置	64
8. 2. 2 巷線の構造	65

第9章 漏れリアクタンス

9. 1 概 説	66
9. 2 リアクタンスの概念	66
9. 3 回転機の漏れリアクタンス	67
9. 3. 1 スロット漏れリアクタンス	67

9.3.2 齒端漏れリアクタンス	70
9.3.3 コイル端漏れリアクタンス	71
9.3.4 誘導機の漏れリアクタンス	72
9.4 変圧器の漏れリアクタンス	73
9.4.1 同心配置の場合	74
9.4.2 交互配置の場合	76

第 10 章 磁 気 回 路

10.1 概 説	78
10.1.1 磁気回路のオームの法則	78
10.1.2 直列磁気回路	79
10.1.3 並列磁気回路	81
10.2 同期機の起磁力	82
10.2.1 概 要	82
10.2.2 電機子鉄心	82
10.2.3 ギャップ	83
10.2.4 齒	87
10.2.5 界磁鉄心	92
10.2.6 繼 鉄	94
10.2.7 励磁電流の計算	94

第 11 章 損失および効率

11.1 損失の種類	96
11.2 鉄 損	96
11.2.1 概 要	96
11.2.2 電機子鉄心における鉄損	97
11.2.3 齒における鉄損	100
11.2.4 全 鉄 損	100
11.2.5 変圧器の鉄損	100
11.2.6 極片表面損	101
11.2.7 齒脈動損	101

11.3 抵 抗 損	102
11.3.1 概 要	102
11.3.2 直流電機子巻線の抵抗損	102
11.3.3 電機子スロット内導体の抵抗比	103
11.3.4 直流電機子導体の抵抗比	105
11.3.5 変圧器コイルにおける抵抗比	105
11.3.6 スロット主磁束による渦電流損	105
11.3.7 ブラシ接触面における電気損	106
11.4 摩 擦 損	106
11.4.1 軸受摩擦損	106
11.4.2 ブラシ摩擦損	107
11.5 風 損	107
11.6 漂遊負荷損	108
11.7 効 率	109
11.8 損 率	110

第 12 章 使用および定格

12.1 概 説	111
12.2 定 格	115

第 13 章 寸 法 の 決 定

13.1 概 説	117
13.2 出力方程式	117
13.3 出力係数	119
13.3.1 磁束密度の制限値	119
13.3.2 アンペア導体の制限値	120
13.3.3 平均回転推力との関係	120
13.3.4 限界出力	120
13.3.5 電気装荷と磁気装荷	121
13.3.6 電機子直径の決定	122

第 14 章 機 械 的 設 計

14. 1	概 説	123
14. 2	軸	123
14. 2. 1	軸の直径の決定	124
14. 2. 2	軸荷重と軸受圧力	125
14. 2. 3	危険速度	126
14. 2	軸 受	127
14. 2. 1	円筒軸受	128
14. 2. 2	玉軸受ところ軸受	128

第 15 章 回 転 機 設 計 例

15. 1	水車発電機	130
15. 1. 1	電機子の設計	130
15. 1. 2	磁気回路の起磁力の計算	137
15. 1. 3	電機子反作用	139
15. 1. 4	漏れリアクタンス	139
15. 1. 5	定格電流に等しい三相短絡電流を流すのに要する 界磁起磁力	140
15. 1. 6	短 絡 比	140
15. 1. 7	同期インピーダンス係数	140
15. 1. 8	全負荷の場合の所要界磁起磁力の計算	140
15. 1. 9	界磁巻線の計算	141
15. 1. 10	特性曲線	143
15. 1. 11	損失および効率	143
15. 2	三相誘導電動機	144
15. 2. 1	固定子の設計	144
15. 2. 2	回転子の設計	147
15. 2. 3	漏れリアクタンスの計算	148
15. 2. 4	抵抗の計算	151
15. 2. 5	磁気回路および磁化電流の計算	151

15. 2. 6	無負荷損	152
15. 2. 7	抵 抗 損	154
15. 2. 8	全損失、効率その他	154

第 16 章 製 図 の 基 本

16. 1	概 説	155
16. 2	投 影 法	155
16. 2. 1	投影図の名称	156
16. 2. 2	正投影法	157
16. 2. 3	立体投影図	159
16. 3	規 格	160
16. 3. 1	図面用紙の寸法	160
16. 3. 2	線の用法	165

引用・参考文献	169
演習問題	170
演習問題解答	172
索 引	177